

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～

どうして鳥や飛行機は空を飛べるのかな？

外敵から身を護るために、ある動物は木に登り、木から木へと飛び移る生活を選びました。また他の動物は、首をニューツと伸ばし、遠くの敵を見つけやすくしました。またある動物は、鎧のように皮膚を固くしたり、たくさんトゲを生やしたりして、食べられないようにしました。色々工夫をするなかで、外敵のない空へ飛び立ったのが「鳥」なのですね。

でも、一番大切なのは空を飛びたいという「願い」と、絶対に飛ぶんだという「強い意志（こころ）」ではないでしょうか。よし、飛ぼう！と思ってすぐに飛べるようになったのではないでしょう。きっと数えきれないくらいの失敗をしたでしょう。自分の代で飛べるようになってもいいないでしょう。しかし、飛びたいという「願い」と絶対飛ぶんだ・飛べるんだという「強い意思（こころ）」を持ち続け、伝え続けた結果、空気や重力を上手に利用し味方につけて「浮力」として使えるようになったのではないのでしょうか？ 大空を飛ぶ鳥たちを見ていると、そんな思いが浮かんでまいります。

その鳥たちを見上げながら、「ボクも鳥のように、自由に空を飛んでみたい」と考えた人がいました。1903年に、エンジンのついた飛行機で飛ぶことに成功した「ライト兄弟」が有名ですが、それより前の1785年、グライダーのようなもので空を飛んだのが岡山生まれの「浮田幸吉」さんです。それ以前にも、ルネサンス期のレオナルド・ダ・ビンチの図面や、ギリシャ神話のイカロスなどがありました。それらのお話を通して、空を飛ぶことに挑戦した人が数多くいたことが解ります。大空に挑戦し続けた先人方の「願い」が、今の私たちの生活を支えてくださっているのです。

